

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	人間ドック受診者における甲状腺機能とメタボリックシンドロームの関連についての後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満を基盤として高血圧、脂質異常症、高血糖などの代謝障害を発症する状態です。全身のエネルギー代謝を促進する甲状腺ホルモンが減少すると、内臓脂肪が蓄積しやすくなることから、甲状腺機能の異常がメタボリックシンドロームへ影響する可能性が示されています。しかし、メタボリックシンドロームのリスクが高い場合に、甲状腺機能をどの程度に保つべきかどうかは明らかになっていません。本研究の目的は、東京慈恵会医科大学附属病院新橋健診センター、慈恵医大晴海トリトニック晴海健診センターの人間ドックを受診された方のデータを収集・解析し、本邦における甲状腺機能とメタボリックシンドロームの関連を明らかにすることです。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2013年4月1日から2021年8月31日までに附属病院新橋健診センターまたは晴海トリトニック晴海健診センターで人間ドックを受診し、甲状腺機能を測定された20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	ID、年齢、性別、生年月日、身長、体重、BMI、腹囲、体脂肪率、既往歴、家族歴、喫煙歴、飲酒歴、収縮期/拡張期血圧、脈拍、検査データ	
	(4) 情報の取得の方法	健診録から人間ドック受診時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科講座
		氏名	渡邊 侑衣
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2022年1月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科講座 研究責任者：助教 渡邊 侑衣（わたなべ ゆい） 電話番号：03-3433-1111（内線 3249） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。